

令和5年度 鳥羽志摩中学校新人大会 実施要項

主 催 : 鳥羽志摩中学校体育連盟

後 援 : 鳥羽市教育委員会 志摩市教育委員会

期 日 : 令和5年9月16日(土)、9月17日(日)、9月24日(日)、10月7日(土)

*雨天時 屋内競技は実施、屋外競技は順延、または延期

予備日 9月17日(日)、9月24日(日)、10月7日(土)、10月8日(日)

【10月8日(日)を最終日とします】

※9月30日(土)、10月1日(日)陸上県大会

競 技	期 日	開 催 会 場
野 球	9月24日(日)	鳥羽中央公園野球場
	9月24日(日) 10月7日(日)	長沢球場
ソフトボール		
サッカー	9月24日(日)	文岡中学校グラウンド
女子バレーボール	9月24日(日)	鳥羽市民体育館
バスケットボール	9月16日(土)	文岡中学校体育館
男子ソフトテニス	9月16日(土)	阿児ふるさと公園テニスコート
女子ソフトテニス	9月16日(土)、17日(日)	阿児ふるさと公園テニスコート
男子卓球	9月24日(日)	磯部ふれあい公園体育館
女子卓球	9月24日(日)	文岡中学校体育館
バドミントン	9月16日(土)	鳥羽市民体育館
剣 道	9月17日(日)	鳥羽市武道館
柔 道	9月17日(日)	鳥羽市武道館

注) : 総合大会ではありますが、屋外競技においても天候や各会場の状況により「実施」「延期」の判断が異なる。

令和5年度 鳥羽志摩中学校新人大会 — 注意事項 —

1. 大会出場規定

(1) 大会への出場の仕方（確認）

①同一大会、一人一種目

【特設柔道、特設剣道に所属する生徒について】

- ・大会日程が異なっていれば、2つの競技への出場を認める。
- ・大会日程が重なっている場合は、どちらの競技に出場するのか選択をする。
(雨天等で大会の日程がずれた場合は、2つの競技への出場を可能とする)

※2つの競技に出場の場合（特に団体競技）

⇒生徒本人、保護者と事前に十分な話し合いが行われ、特に団体競技においては「出場する生徒」もしくは「出場できなくなった生徒」への配慮がなされていることや、本人、保護者が理解をしていることとする。

②合同チームについて

- ・今大会は合同チームの参加を認める。
- ・ただし鳥羽志摩中体連各種大会出場規定に準ずるものとする。

※別紙『令和5年度鳥羽志摩中体連各種大会出場規定』

※別紙『三重県中学校総合体育大会複数校合同チーム参加規定』

2. 開催、延期の決定について

屋外競技及び離島の生徒が含まれる競技の開催、あるいは延期の決定は文岡中、鳥羽東中で協議（中体連役員、専門部長）の上、決定する。（5時45分集合）

離島の生徒【神島中（卓球）、答志中（野球、バドミントン、剣道）、鳥羽東中（野球、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、陸上）】

※決定には屋外競技の専門部長も参加

(1) 9月16日（土）、17日（日）

文岡中学校	鳥羽東中学校
中体連本部 濱野（ソフトテニス）	なし

(2) 9月24日（日）

文岡中学校	鳥羽東中学校
中体連本部 石本（野球）大澤（サッカー）	中体連本部 松本（野球）

(3) 10月7日（土）

文岡中学校	鳥羽東中学校
中体連本部 石本（野球）	なし

※10月7日（土）以降の天候判断については各競技の進行状況から判断する。

(4) 定期船等

神島⇒岡村 答志⇒尾上 マリナーミナル⇒成瀬
※離島の生徒が所属する競技の専門部長へ連絡

(5) 天候不良時やグラウンドコンディションが悪く延期する場合は、朝6時頃に各校理事に連絡する。

※1) 予定通り開催される場合は、連絡をしない。

※2) 開催、延期等の情報は鳥羽志摩中体連ホームページに掲載する。

(6) 離島の生徒がいる競技について

最大6時30分まで待機してもら場合もある。

※連絡の流れ

① 岡村（神島）、尾上（答志）、成瀬（マリナーミナル）に波や霧の様子について、確認の連絡をする。【5：30頃】

※鳥羽市定期船課 HP「運行状況」

→「通常運行」の場合は常時アップされている。

「通常運行でない」場合は、状況について6時30分頃にはアップされる。

② 6時30分に中体連としての判断をする。

※各専門部で定期船が出なかったときの対応について実施要項に明記のこと。

3. 開閉会式について

開閉会式には大会長の挨拶をお願いします。開会式には全校の参加を基本とする。各校の参加人数については専門部の判断とする。また、開会式の中で災害時の緊急避難場所等の連絡を行う。

4. 各競技の専門部長へ

① 順延、延期となった場合、大会長・救護・外部審判・施設（会場）への連絡を行う。

② 大会（開閉会式を含む）の中心となって運営を行う。

③ 「大会要項」「大会記録（速報）」「大会結果（詳細）」「会計報告」の提出をする。

※大会要項には離島生がいる場合は、定期船関係の内容を記載する。

※合同チームでの参加がある場合は 別紙「鳥羽志摩中体連各種大会出場規定」及び 別紙「三重県中学校総合体育大会複数校合同チーム参加規定」の確認をすること。

提出物	提出先	提出日	備考
各競技 大会要項	※変更	専門部会後3日以内をメドに	E-mailで報告
大会記録（速報）		大会実施日（17時まで）	FAX及びE-mail（事故報告含む）
大会結果（詳細）		大会終了後3日以内	E-mail（事故報告含む）
会計報告	各校理事	大会終了後1週間をメドに提出	各校理事から会計担当へ提出

※「大会要項」「大会記録（速報）」「大会結果（詳細）」の提出先

toshityutairen00@outlook.jp

※会計報告（医療費含む）：各校理事に提出

＜各校理事は提出された用紙等を会計担当（成瀬）に提出＞

④ 大会終了時間（生徒帰宅時間）に配慮した大会運営（計画）を行う。

※鳥羽市定期船時刻（佐田浜発→到着時間）

【 菅島行き 】	17時45分発 → 17:58着	
【 答志行き 】	17時55分発 → 18:27着	
【 神島行き 】	17時40分発 → 18:10着	※最終便
【 桃取行き 】	18時10分発 → 18:22着	

※鳥羽市日の入り時間

5月1日	6月1日	7月1日	8月1日
18:37	18:59	19:09	18:54
9月1日	10月1日	11月1日	
18:19	17:37	16:59	

5. 専門部の先生

大会の運営や審判等に最後まで協力をする。

6. 優勝旗の返還

各競技の昨年度優勝校は、優勝旗を忘れずに当日会場まで持参する。

7. 棄権（団体競技）

団体競技で棄権する場合は、当日でも可能であるが、その可能性がある場合は、事前に中体連本部・専門部長に状況を伝えておくこと。

●学校閉鎖⇒棄権

●学年・学級閉鎖⇒該当学年・学級以外の生徒でチーム編成ができ、出場可能な場合は可
ただし、学校長が「棄権」と判断することもある。

8. 表彰について

団体、個人とも3位までとする。ただし、参加校が8校未満の競技は2位までとし、4校未満の競技は1位のみとする。（個人戦の場合も同様とする）

※大会結果は後日、鳥羽志摩中体連ホームページ、新聞紙上等に掲載する。支障のある場合は中体連本部まで事前に連絡をすること。

※大会要項に表彰状の必要枚数等（表彰状の種類、枚数）を記載する。

9. 緊急時の対応

◎けが、熱中症等への対応

大会期間中、生徒の健康状態の把握につとめ、参加者の健康管理の事前指導を必ず行うようにす

る。急病、思わぬ大ケガについては、救護の先生の手を借りて応急処置を施し、顧問・引率者等が速やかに医療機関へ搬送すること。なお、該当校の学校長、家庭への連絡も速やかに行なうこと。その際、状況報告も含め、専門部長は、中体連会長、および理事長への連絡も必ず行うこと。

その他、緊急を要する連絡等については、中体連会長、および理事長へ直接連絡すること。

※ 医療機関等については別紙参照（病院に向かう前に TEL をして、診察時間等を確認）

10. 災害時の対応

地震・津波等に対して何らかの警報・注意報が出された場合は、以下の安全対策に基づいて行動すること。

(1) 大会開始前

- ・在宅中の場合には、自宅にて安全を確保させる。
午前6：00の段階で発表されている場合は、その日の競技は全て中止とする。
- ・会場への移動中は、速やかに帰宅するものとする。なお、公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示にしたがうこと。

(2) 大会開催中

- ・直ちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、安全な場所に避難するか状況を各競技の大会長が判断して、最も安全と思われる方法を指示する。

(3) 警報・注意報が解除された場合

- ・解除された場合でも、交通機関、通信手段等、相当な社会的混乱が予想されるため、当分の間大会は中止とする。

(4) 報告

- ・専門部長は、大会の実施、中止、延期等について必ず中体連会長及び理事長に報告をすること。

◎天候が急変したときの対応（雷、大雨等）

大会長、専門部長で協議し、中断、中止等の決定をする。

※サスペンデッドゲーム（一時停止試合）についても大会要項に記載してください。

11. 熱中症対策

- ・各専門部に熱中症対策費を支給。氷、スポーツドリンク等の準備をすること。
また、各校でも対策を施すようにすること。
- ・屋外競技において、日陰がない会場では、各校でテント等の準備をすること。

12. その他

【不適切な指導の根絶】

- ・体罰、暴言、セクハラ等について、注意喚起あり。適切な対応を行うこと。